



お元気ですか

日本共産党三重県議会議員

岡野恵美の議会通信

No. 22

2017・4・23

発行

岡野恵美事務所

〒514-0016

津市乙部 21-25

Tel/Fax

059-273-5505

メール emi-okano-jcp@wb4.so-net.ne.jp

みなさんのご意見ご要望をお寄せください。

2月定例会議

来年度予算等に反対

議案 106 件のうち 16 議案に反対 他は賛成

2月定例会議で、3月21日採決がありました。日本共産党の反対討論の一部をお知らせします。

★**ポストサミット予算** 114億円、実感できていない経済効果。さらにこの予算枠で大型道路建設

★**企業立地や促進の補助金** 14億6000万円、粉飾決算企業にも補助金は問題

★**子どもと教育現場に負担を押しつける学費向上県民運動** 5000万円、教師の多忙に拍車。一人一人に向き合う時間と真の学力保障を

★**四日市港管理組合負担金** 16億1252万円。生活道路ではない産業道路に9億円も

★**リニア中央新幹線推進**に700万円、巨額投資で県民の負担が膨らむ。必要なのは県民の足となる公共交通

★**県政** だよりに1億1600万円、特定新聞購読者にしか届かない。全戸に行きわたらせることを追及すべき

★**消費税 8% 引上げ**の増収分121億円は社会保障費に充てるべき。一般財源で賄ってきた部分に充てられている

★**子どもの貧困対策** といながら、子ども医療費など福祉3公費窓口無料について、県民の要望、議会意見書があっても実施しない

★**水道用事業・工業用水事業** 1500億円の巨額投資で建設された長良川河口堰。利用低迷でも出資金・補助金を県が支出し維持

★**電気事業** 83億円をかけて建設したRDF発電施設で人身事故。採算合わず、うなぎ上りの処理料。継続できなくなり平成32年終了

県職員の定数削減や給与のカットに反対

知事部局等で15名、学校関係部局で101名、今回、合計116名の県職員定数の削減案が示されました。

県職員の仕事量は増え、その内容も複雑化しています。また、学校現場など、子ども達を取り巻く環境が変化しているなかで、超過勤務時間は、決して改善しているとは言えません。

県職員の健康、県民へのサービスを考えると、職員定数を減らし、非正規職員に置き換えるのではなく、正規職員を確保すべきです。

また一般会計予算、約7千億円のうち31億円の財源不足を職員の給与削減で補う方法ではなく、企業補助金や高速道路などの国直轄事業を見直すことをはじめ、手立ては他にあったと考えます。

公務員の賃金の削減は地域の経済や労働者全体の賃金の引き下げにもつながります。

要望実り予算化！！

- ★老朽化した信号の更新
- ★摩耗した横断歩道表示塗り替え



茂志登川浄化センター来年4月供用開始

安全のため今後も経過観察を

岡野議員が今議会の一般質問で取り上げ、日本共産党議員団として、再度調査を行うよう申し入れていた「浄化センターの基礎ぐい改ざんのその後の処理経過について」報告書がようやく出されました。

ひび割れ補修は、2755カ所に及んだとのことです。

浄化センターの、現在の安全性については、「ひび割れ」の進行は収束し、構造物に「ゆがみ」や「沈下」や「傾き」がなく、水槽部の水漏れも水張試験で確認しているとの事で、当該施設が安全である」と判断したとのことでした。しかし、水槽部だけでなく建築物全体について、今後も経過観察をしていくべきです。専門家をいれずに当局だけで判断したことについてはなお疑問が残るということ、強く訴えました。

それにしても、1993年（平成5年）の環境アセス現地調査から来年度の供用開始予定まで25年、実に長くかかったものです。

<5月の議会日程>

- 5月11日 代表者会議、議会運営委員会
- 5月15日～17日 代表者会議
- 5月18日 本会議（役員改選）
- 5月22日 代表者会議
- 5月24日～26日 常任委員会（所管説明）
- 5月29日 議会運営委員会
- 5月31日 特別委員会（活動計画）

事務所開所は午後です。

1:30～5:00

